

2011年6月29日

公明党つくば市議会

小野 泰宏

馬場 治見

浜中 勝美

山本 美和

「つくバス・つくタク」改善要望書

本年4月よりスタートした新しい公共交通システム「つくバス・つくタク」ですが、実際に事業が始まって3ヶ月経ち、様々な課題が見えてきていることと思います。私たち公明党つくば市議会としても、多くの市民の皆様からご意見を頂戴し、実際に全線試乗調査して、改善点・要望をまとめました。

今後、更なる市民の皆様への公共交通として発展していけるようご検討くださるようお願い申し上げます。

記

1. つくバス・つくタクの料金支払い体系を統一し、わかりやすく利用しやすい体制を検討すること。
※現状は、つくバスは現金可、つくタクは事前購入のタクシー券のみ
2. 乗り継ぎ割引のシステムがわかりにくいので、わかりやすい単純なシステムへ改善すること。
 - ①「高齢者割引」や「乗り継ぎ割引」について、車内アナウンス・運転手による声かけ等を検討すること。
 - ② 運転手による乗り継ぎ券の発行は、手間がかかり検討が必要。
3. 業務委託業者との連携・意思疎通をはかり、公共交通の意義・目的を、運転手にしっかり理解させてほしい。
 - ①運転手は顧客に対しては、あくまでもお客さんであることの意識を持つべきである。
 - ②利用者はまだシステムに慣れていないので、特に障害者・高齢者・子どもに対しては、やさしい言葉で接してほしい。

【つくタク】

4. つくタクの登録・予約・利用の仕方が複雑で、弱者に対しわかりやすいシステム改善と案内をすること。
 - ①つくタクが1時間単位での予約しかできないことは、告知されていないし、これでは利用しづらい。30分単位での運行を検討すること。
 - ②導入初期においては、予約センターでの細やかな対応・説明を求める。

5. つくタクの土曜・日曜運行・時間延長を早急に検討すること。

6. 夕方の、小学生の子どもがつくタク利用について、もう少し配慮してほしい。
※乗るメンバーが告知されているのにも関わらず、時間だからと置いていく。
駐停車禁止路上だから、停車してられないなどという。

7. 車椅子利用対応車両の導入を検討すること。
従前のつくバスは、障害者が車椅子で利用可能であったが、つくタクとの連携により車椅子不対応になり、障害者にとって、利用しづらいものとなった。

8. 豊里地区のいちほら病院・筑波学園病院への乗り入れ拡大を検討してほしい。

9. つくタクの利用者増加のために、積極的な広報活動・周知徹底を行うこと。
特に高齢者など、潜在的な利用者のための具体的な利用方法を提示するなど、利用者目線に立った広報をお願いしたい。

【つくバス】

10. 筑波山シャトル（関鉄）と北部シャトル（つくバス）の結節点について、筑波山口の停留所において乗り換えができるように、バス運行事業者に対し申し入れを行うこと。

11. 筑波山口から筑波山神社入口までの地域住民の移動手手段の確保を図ること
と
 - ①筑波山シャトルバスの最終運行時間について適切な時間を設定する申し入れを行うこと。
 - ②北部シャトルの筑波山神社入口までの運行延長を検討すること。

※沼田在住の中学生が通学手段を失っている。

1 2. つくバスの停留所について、利用者の観点から移動・増設の検討を行うこと。

①停留所の名称と、施設の場所が合わないもしくは停留所から離れている

(作岡シャトル) ゆかりの森、豊里窓口センター

(自由ヶ丘シャトル) みずほ団地入り口

②郵便局・銀行・病院等は、つくバス路線にある場合停留所を作って欲しい

(自由ヶ丘シャトル) 荃崎南郵便局

1 3. 研究学園駅発着のつくバス(作岡シャトル・自由ヶ丘シャトル)のつくば駅

延長を検討すること。

1 4. 自由ヶ丘シャトルのみどりの駅～研究学園駅間の増便、もしくは別ルート増設を検討すること。

1 5. 荃崎地区においては、買い物弱者対策の観点でルート改善を検討してほしい。

スーパーへのルート・停留所を検討してほしい

1 6. つくバスの車内広報について、計画的で統一した広報・広告の在り方について検討を行っていくこと

※現在、バスによって、チラシの掲示などが異なっている。

市政情報提供の機会として活用してほしい

1 7. つくば市への来訪者・観光客にわかりやすいように、駅などの主要場所に**案内板を設置**すること。各バス停にも、簡易案内板を設置すること。初訪問者にはそれこそわかりにくいシステムであり、不親切である。

1 8. なるべく早い時期に利用者や市民に対し、**アンケート調査**を行い、利用者の声を反映させること